

様式

鶴ヶ島市附属機関会議録

【開催概要】

会議名	令和５年度第４回新町小学校学校運営協議会
日時	令和６年３月６日（水曜日） １４時３０分～１６時００分
場所	新町小学校 会議室
出席委員	武田 和子会長、長島 安一委員、高橋 裕一委員、 佐藤 敏夫委員、中里 由架利委員、田邊 昭子委員、 萩原 基雄委員、安保 聡美委員、安野 修司委員、 荒幡 光宏（新町小学校長）
欠席委員	佐藤 克則委員、越後 里菜委員
事務局	小井川 聡教頭、三浦 英美代事務主幹
議題	(1)今年度の学校評価について (2)新町小学校 令和６年度の教育計画について (3)その他
配布資料	資料１ 令和５年度自己評価・学校関係者評価報告書 資料２ 鶴ヶ島市立新町小学校 令和６年度グランドデザイン
公開・非公開	公開
傍聴人数	０人
会議要旨	(１) 今年度の学校評価について教頭が説明を行い、委員から承認を得た。 (２) 令和６年度の教育計画について校長が説明を行い、委員から了承を得た。

【議事概要】

議題１，今年度の学校評価について

（教頭）前回の学校運営協議会で熟議いただいた意見を令和５年度自己評価・学校関係者評価報告書にまとめました。加除修正あればご意見をお願い致します。

（項目を一つずつ読み上げる）

加除修正あればご意見をお願い致します。それではこちらの内容で、鶴ヶ島市教育委員会に提出し、ホームページで公開致します。

議題２，新町小学校 令和６年度の教育計画について

（校長）令和６年度グランドデザインでは、国の４期教育振興基本計画を入れてあります。コンセプトが大きく変わってきているところがポイントです。埼玉県教育振興基本計画は最新版が出たら書き換えを行います。これらを受けまして、本校の学校教育目標は「かがやく自分へチャレンジ」を継続し、子ども達に浸透させていきたいと思えます。目指す学校像は「一人一人が輝き、笑顔と確かな学びにあふれる学校」で、子ども達がきらきらと輝く笑顔、そして学びに向かっていく姿勢、それを実感できる学校を目指してい

きたいと考えております。目指す児童像は今年度と大きく変更し「知・徳・体」をはっきりとさせました。生きる力（知・徳・体のバランスの取れた育成）がゴールになるので、目指す児童像も「知・徳・体」で表しました。

小学校では、「安心して過ごせる教育環境」「確かな学力の育成」「豊かな心と健やかな体の育成」「個に応じた支援の充実」の4観点は今年度と変更ありません。「安心して過ごせる教育環境」では、今年行った個に応じた迅速、組織的な支援を次年度も継承していきたいと考え「生徒指導の充実」を入れました。「確かな学力の育成」では「話す力」を入れました。今年度力を入れた「聞く力」はインプットなのでアウトプットとして「話す力」を入れました。「豊かな心と健やかな体の育成」には「温かな心の育成」を入れました。

家庭・地域では、「安心して過ごせる生活環境」の中に、「早寝・早起き・朝ごはん」の後ろに「朝うんち」を入れました。「学校応援団や保護者による温かな登下校時の見守り活動」を入れました。今年、地域に支えられ、学校応援団や保護者の方の温かい見守りがあったため大きな事故がありませんでした。「親子で考えるスマホやゲームを使用する時の約束（ノーゲームデー推奨）」を入れました。本校の課題です。家庭と一緒に子ども達の意識を高くしていく必要があるということで入れました。「確かな学力の育成」では、「読書する習慣」に「親子読書の推奨」を加えました。学校での貸し出し割合が徐々に上がってきているので家庭でも読書の習慣ができるよう加えました。「豊かな心と健やかな体の育成」の中に「地域行事の実施と保護者児童の参画」を入れました。地域、家庭と一緒に力を入れていきたいと思っています。「個に応じた支援」では「民生児童委員との連携」を加えました。今年度、民生児童委員と連携することで子どもの良き成長を見られたためさらなる連携を図るため入れました。

（委員）校長先生の意気込みが伝わりました。保護者の方に魅力的な学校だと伝わるのではないのでしょうか。

（委員）ゴシック表記が減り、強調したいものがぼやけなくなったと思います。

（教頭）学校の様子では「聞く力」はもう少しかなと思うのですが、学校外ではどうでしょうか？

（委員）この「聞く力」とは話の内容の解釈も含めてでしょうか？

（校長）話の内容の解釈も含めてです。深い学びになるようにインプット後アウトプットまでが大事だと考えています。

（委員）話の内容をしっかりと深いところまで理解して次の行動に移すことができない場面をちょっと見かけることがあったので、この「聞く力」は校長先生のおっしゃる通りでこちらも勉強になります。

(委員) 児童館に遊びに来る 6 年生は職員の名前を憶え、挨拶も出来ています。友達同士で流行っていることや学校での出来事等を話してくれる様子から、あと少しの小学校生活を楽しんでいるのだと見受けられます。低学年の子は、名前と電話番号を記入して児童館を利用することになっていますが、当初は電話番号を書けなかったり、おうちの人に書いてもらったメモを忘れてしまったりということがありましたが、3 学期に入ってからちゃんと理解してできています。4 月当初に比べ、低学年の子も高学年の子も成長を感じています。

(委員) グランドデザインの「小学校では」の「個に応じた支援」で「専門機関への相談」が抜けているのではないのでしょうか？

(校長) 加筆致します。

(委員) 休日の学校開放の際の子ども達の行動や放課後の子どもの自転車の乗り方が心配です。また、登校した後に学級閉鎖で帰った子がいました。学級閉鎖について地域と共通理解ができていれば子どもに教えることができたかもしれません。また、忘れ物を取りに一人で家に帰ってしまった子がいました。

(教頭) いつも子ども達を見守り、その都度声をかけていただきありがとうございます。学校としても家庭と連携していきたいので、気付いた時に学校へご連絡いただけると助かります。また、忘れ物は取りに帰らないことになっておりますので、お声がけいただけるとありがたいです。

(委員) 狭い学童に 100 人ぐらいの子どもがいる状況は、子ども達が聞きにくい環境の中にいる気がします。低学年に工作教室をやりましたが、説明を理解して行動するという聞く力がもう少し身につくと良いのではないのでしょうか。相手の言葉に重さを感じることができると思います。また、自分の言葉の裏付けには普段の行動があるということを子ども達に伝え、教育活動に生かしてほしいです。

(教頭) 生かしていきたいです。今年度、言葉でのトラブルが多かったです。一方、6 年生を送る会のように、温かい言葉、気持ち良い言葉を伝える場面もありました。

(委員) 西中の生徒と話した時にとっても良い挨拶ができていましたので、西中にお伝えしてください。

(教頭) お伝えしておきます。

(委員) 昨日、市民センターに 4 時半過ぎに子どもが 3 人いました。話しかけたら、雨が降っているから雨宿りさせてもらっているとのことでした。傘を貸してあげようかと話しまし

たが、自転車で来ているから小降りになったら帰りますとのことでした。雨の状況を調べてみてこの後さらに降ってくるようだけどどうすると聞いかけると、帰りますと自分達で決めて帰っていきました。自分の意見をちゃんと言える様子を見て安心しました。

(委員) 下校時、南小では保護者が交差点で見守りをしていますが、新町小ではどうですか？

(教頭) 新町小では、PTA地区安全委員の方がポイントと曜日を保護者で分担して見守りをしてくれています。

(委員) 子どもの登校時間前ですが、地域で2月26日に事故がありました。地域と学校が警察に言って制限速度を30kmにしてもらってはどうか？学校だよりの内容は素晴らしいがインパクトが無いと思います。

(委員) 話を聞くには環境や感情が大切で、子どもを引き付けないといけません。子ども達が興味を持って聞きたいと思う授業の工夫が必要になってくると思います。来年度も引き続き見させていただきたいです。

(委員) 読み聞かせでは、棒読みは駄目だけど、感情移入も良くないと言われます。聞き手の子どもがキャラクターを作るからだそうです。言葉の力は大事で、よく考える必要があります。次に、今年度の学校評価についてですが、母集団の数を書いてほしいです。また、学校だよりを保護者には紙で配布していないようですが、大事なことは紙で配布してもらいたいと複数の保護者から聞きました。学校評価の中でネガティブな回答が増えたところの分析はいかがでしょうか？ICTの活用は大事ですが実物を見ることも大切です。

(教頭) 学校評価に反映致します。

(委員) なぜ質問項目を教育委員会は変えたのでしょうか？似たような項目で比較することはできるので、「あまりそう思わない、そう思わない」が増えた項目については次年度以降気を付けていってください。

(委員) 先生方が相談しにくい子どもがいる傾向を掴んで、相談しにくかったら相談先は親でもいいし児童館の人でもいいしいろいろあることを子ども達に伝えていくことが大切です。相談しにくい子が増えている傾向を掴んで指導に当たってほしいです。

(校長) いじめは許さない、困っている時は相談することが大切だとお話朝会で話しました。引き続き子ども達が話せる環境を作っていきます。

(委員) いじめのアンケートはどのような形式、回数で行っていますか？

(教頭) 年に 5 回、記名式で行っています。

(校長) また高学年では、Hyper-QU も行っています。

(委員) 20 年前から国立政策研究所のリーフレットではアンケートは無記名でと書いてあります。記名式では本当に困っている子が何も言えないからです。5 回のうち 1 回でも 2 回でも良いので、無記名で行ってください。無記名で実態を把握することが絶対に必要です。

(委員) この間、西市民センターに行ったところ、夕焼けチャイムが鳴っても遊んでいる子どもがいて、職員が声を掛けてもまだ遊んでいる子がいました。さらに私の方で声を何度か掛けました。帰る段階で、必要以上にあった椅子を片付けるよう声を掛けましたが、自分達ではなく他の学年が動かしたとのことでした。子ども達はそのまま帰ってしまいましたが、一人だけ子どもが戻ってきて職員と片付けを行いました。職員の方もその子に偉いねと声を掛けていました。自分がやったものではなくても最後は元に戻せるのが大事なかなと思います。多学年と一緒に遊べるのは良いことです。

(校長) 子ども達には、ジェスチャー付きで「気付き、考え、行動する」を伝えています。ちゃんと出来た時に「気付いて行動できたね」と声をかけてもらえると助かります。

(委員) 西市民センターでも声掛けをしています、なかなか帰らない子がいます。センターを出た後ももしかすると外にいるのではという子がいます。

(委員) 働き方改革の項目で、18 時以降は留守電になることが書いてありますが、実際には 18 時以降も先生方が対応していることを載せなくて良いですか？この記入の仕方では、学校が何も対応していないようにとらえられませんか？

(校長) 実際には電話がつながらない時、着信が残るので学校はその後対応しています。また、事前に何時に電話しますと連絡をいただいた時はその時間で対応させていただきますということもやっています。ケースバイケースですが、出来ることはさせていただきます。その含みを入れさせていただくことで良いでしょうか。

(委員) 時間外でも対応している状況を入れても良いのではないですか。

(教頭) ご意見をいただきありがとうございます。今、いただいたご意見を基に来年度のグラウンドデザインを了承していただいたということですのでよろしいでしょうか。

(委員) はい。